

令和8年度 白潟小学校 学校経営方針

1 学校教育目標

『かしこく（知） やさしく（徳） たくましい（体） 白潟っ子の育成』

2 本校教育の基本方針

- ・『チーム白潟』として、「全職員で全児童を導く」ことを基本に、職員の個性や専門性を生かし、多角的な視点で児童の育成を図るとともに、学校全体の一体感を醸成する。
- ・学校教育目標の具現化に向け、学級経営や校務分掌の具体的方策を講じ、PDCA サイクルの機能を十分に生かして実践する。
- ・学校の使命である子どもたちの学習権を保障し、「確かな学力の向上」を重点として、「知」「徳」「体」のバランスのとれた教育活動を行う。
- ・白子町の自然・環境・人財を生かし、教職員・保護者・地域が一体となって学校を創りあげていくという意識を大切にす。

3 学校経営目標

(1) めざす学校像

① 明るく、楽しい学校

- ・児童一人一人の存在感や有用感が認められる学校
- ・全ての児童が夢や希望をもち、明るく活気に満ちた児童の成長が見られる学校
- ・教職員にとって働きがいのある学校

② 安全・安心な学校

- ・学校のきまりが正しく守られた学校
- ・清潔で、教育環境が整備された学校
- ・全ての児童が心の居場所を感じられる学校

③ 地域とともに歩む学校

- ・児童が、ふるさと白子のよさを体感し、郷土への愛着と誇りをもてる学校
- ・保護者や地域に開かれ信頼される学校

(2) めざす児童像（かしこく やさしく たくましく）

① かしこく

- ・深く考え、自分で判断し、行動できる子
- ・目標をもち、進んで学習できる子

② やさしく

- ・自分を大切にし、他者を認め、互いに助け合える子

- ・ふるさとを愛し、学校を愛する子

③ たくましく

- ・最後まで粘り強くがんばる子
- ・進んで体力づくりに励む子

(3) めざす教師像（シックスS：6つのS）を目指して）

① 明るく元気な教師（スマイル）

- ・笑顔で教壇に立つ教師
- ・生き生きとした活力のある教師
- ・自分の夢を児童に語れる教師

② 探究心を持ち、主体的に学ぶ教師（スタディ）

- ・常に指導方法の工夫改善に努める教師
- ・自ら児童の手本を示す教師
- ・協働的な学び（学び合い）を実践できる教師
- ・常に仕事の仕方を見直し、優先順位や時間効率を考え、「働き方」を変化させる教師

③ 奉仕的精神に富んだ教師（サービス）

- ・児童の意見に常に耳を傾ける教師
- ・児童や保護者、地域から信頼される教師
- ・進んで身体を動かすことができる教師

④ 常に児童の安全性を考慮した教師（セキュリティー）

- ・常に安全チェックを欠かさない教師
- ・危機回避能力を児童に指導できる教師
- ・命の大切さをしっかりと指導できる教師

⑤ 相手の心の動きを感じ、それを表現できる教師（センス）

- ・厳しさと優しさをおかね備えた教師
- ・よさを認め、いじめやうそを見逃さない教師
- ・場に応じた、適切な指導ができる教師

⑥ 自らの倫理観を高め、サービスの厳正に努める教師（セーフティー）

- ・教育公務員としての自覚を常にもち続ける教師
- ・児童や保護者、地域から信頼される学校づくりをする意識をもつ教師
- ・職場風土をよくし、互いに助け合える教師

4 学校経営の重点

(1) 信頼関係のある学級・学校経営

- ・児童一人一人の人権を尊重し、命を大切にする心の教育を推進する。
- ・道徳科を中心とし、学校教育全体で道徳教育の充実を図る。

- ・学級活動を中心とし、コミュニケーション力を高め、望ましい人間関係の構築や豊かな情緒交流のある集団作りを行う。
 - ・保護者・地域と「共育（共に育てる）」という意識をもち、家庭や地域との連携の充実を図る。
- (2) 確かな学力の育成
- ・学習規律や学習環境を整え、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。
 - ・児童が、わかる・できる・楽しいと感じることのできる授業の工夫・改善・充実を図る。
 - ・言語活動を充実させ、主体的な課題解決を通して、思考力・判断力・表現力を育む。
 - ・家庭と連携し、家庭学習や読書活動を充実させる。
 - ・個に応じた指導を充実させ、児童一人一人のもてる力を高める。
- (3) 生徒指導の充実
- ・児童へのあいさつや声かけ、励まし、称賛、対話を心がけると共に、授業や行事を通じた個と集団への働きかけを大切にし、児童自身が自らのよさを発見し、可能性を伸ばせるようにする。
 - ・教育相談体制を充実させ、児童・保護者に対する共感的理解と相互理解を図る。
 - ・観察力を高め、生徒指導的課題の早期発見に努めると共に、報告・連絡・相談のもとチームで初期対応にあたる。
- (4) 健康・安全教育の充実
- ・健康や食に関する指導の充実を図り、児童の望ましい食生活や基本的な生活習慣の保持と健康増進を図る力を高める。
 - ・安全教育の充実を図り、児童の危険を予測し回避する能力を高める。
 - ・正課体育や課外活動の充実を図り、児童の体力及び粘り強く最後までやり抜く力を高める。
- (5) ふるさと教育の充実
- ・地域の教育力（自然・環境・人財）を生かした体験活動を積極的に学習に取り入れることで、児童が地域の方とのつながりを感じ、白子町のよさを知り、郷土愛を深められるようにする。
 - ・小・小連携、小・中連携、保小連携等を積極的に教育課程に取り入れ、交流による相互理解の促進と白子町の一員であることの意識の高揚を図る。
- (6) 働き方改革の推進
- ・日課表や年間計画の見直しを行い、教職員の事務時間を確保する。
 - ・目標申告の活用により、目標や到達するための手立てを明確化し、業務内容やスケジュールの自己管理を確実に実行できるようにする。
 - ・モラールアップ委員会を中心に、風通しのよい職場を醸成し、心の健康が増進できるようにする。